CARMATE

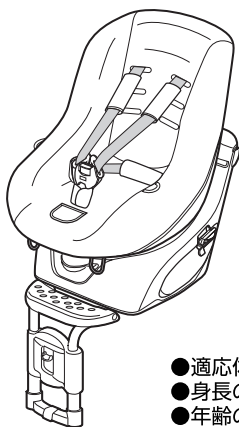
2039-70355G

AILEBEBE

KURUTTO

クルット

エールベベ・クルット取扱説明書

本品は正しい使用および取付けをしないと本来の性能を発揮できません。本書の内容を十分にご理解の上ご使用ください。記載内容にご不明な点がございましたら、当社サービスセンターにお問合わせください。(TEL.03-5926-1212)

●適応体重　2500g以上18kg以下
●身長の目安　50cm以上100cm未満
●年齢の目安　新生児～4才ごろ

車との適合について

・**本品は必ずしも全ての車に取付けられるものではありません。**

ご使用前に、店頭の車種別適合表、当社サービスセンターまたはホームページで確認してください。
当社での適合が未確認の場合は、お手数ですが本書4～7ページの内容をご覧の上ご確認ください。取付けするための寸法等は巻末の目盛りをお使いください。

⚠警告　本品が入っているビニール袋は、開封後すぐにやぶり捨ててください。お子さまがかぶられますと窒息等の事故に至る可能性があり大変危険です。

http://www.carmate.co.jp

はじめに

このたびは、エールベベ・クルットをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本品を安全に正しくお使いいただくために、必ず事前に本書をよく読み、内容を十分に理解していただきますようお願いします。お読みになった後も、使用ごとに必要となりますので、リアカバー内側に収納して大切に保管してください。また本品を譲られる場合は、以前に事故や破損がないことをご確認の上、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。誤った取付け・使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
なお、本品は万全な品質管理体制のもとに製造されておりますが、万が一、本製品に関する製造上の問題等が生じた場合、直ちにお客様にお知らせするために登録システムへのご協力をお願いいたします。お手数ですが同梱されておりますお客様登録カードに必要事項をご記入の上、ご投函いただくか、または当社ホームページでのご入力のいずれかで必ずご登録ください。

本品は、車での衝突や急停車などによるお子さまの傷害を軽減することを目的とした年少者用補助乗車装置です。必ずしもお子さまを無傷で守るものではありません。
安全運転の心がけをお願い致します。

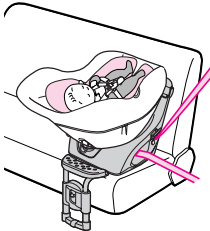
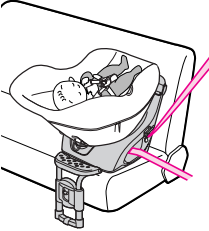
最重要ポイント

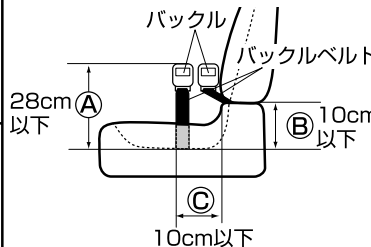
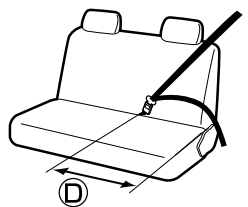
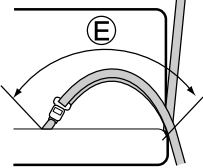
・車のシートベルトを必ず使用して固定する。
・お子さまは必ず本品のハーネスを使用する。
・お子さまの体格にあった使用方法を守る。

目　次

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。
それぞれの記号とその内容は下記のとおりです。

⚠警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
⚠注意	注意事項を守らないと、ケガを負ったり、物的損害が生ずるおそれがあります。
参考	本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

適 応 条 件

必ず製品貼付の適応条件をご確認ください。

- ●適応体重　2500g以上18kg以下
- ●身長の目安　50cm以上100cm未満
- ●年齢の目安　新生児～4才ごろ

適応体重	2500g以上7kg未満	7kg以上10kg未満	10kg以上18kg以下
身長の目安	50cm以上65cm未満	65cm以上80cm未満	80cm以上100cm未満
年齢の目安	新生児～6ヶ月ごろ	6ヶ月～1才ごろ	1才～4才ごろ
取付状態	新生児 プロテクター使用		
	後向き		前向き

取付けできる座席

- ●取付ける車の車種適合が確認できていない場合は、下記の表でご確認ください。
- ●座席の形状や仕様により、下記の寸法でも取付けできない場合があります。

寸法	下記のⒶ～Ⓔに該当するものが、おおむね取付け可能とされるものです。座席の形状や仕様により下記の寸法でも取付けできない場合があります。
Ⓐ	バックルを含めた長さが座面から28cm以下の座席。
Ⓑ	バックルベルトの出ている位置が座面から10cm以下の座席。
Ⓒ	バックルの位置が背もたれから10cm以下にある座席。
Ⓓ	シートベルトの間隔が33cm以上45cm未満の座席。
Ⓔ	シートベルトの長さが70cm以上の座席。

取付けできるシートベルト

⚠警告

2点式シートベルトでは取付けできません。

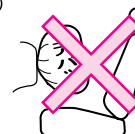
	シートベルトの種類	シートベルトの特徴	本品使用時の注意事項
3点式シートベルト	**ELR** （緊急時ロック式巻取装置）機能付 腰シートベルトにELR機能があるものは除く。	自動で巻取られ、急ブレーキ、衝突時など急速に引かれるとロックされます。	取付け時には、シートベルトを急速に引かずゆっくりと引き出して取付けをしてください。
	ALR/ELR （チャイルドシート固定）機能付	ELR機能の特徴に加え、ベルト巻取装置から全部引き出すとALR機能が働き必要な長さでシートベルトがロックされます。チャイルドシートの取付けの為に設計されたもの。	ALR機能を作動させて取付けを行うと、シートベルトがロックしてしまうため取付けができなくなることがあります。
	ALR （自動ロック式巻取装置）機能付	シートベルトを引き出し、止めた位置でロックされます。	シートベルトを途中でロックさせないように全部引き出してから取付ける。
	NR （マニュアル）方式	長さを手動で調整して使用します。	取付時に長さ調整が必要です。

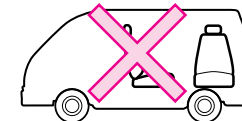
取付けできない座席・シートベルト

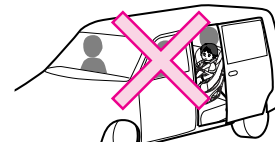
⚠警告

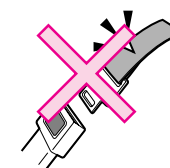
車の装備による場合

●エアバッグが装備されている座席

エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって死亡や重傷に至る危険性があります。なお、エアバッグを無作動にできる場合は車の取扱説明書に従ってください。（サイドエアバッグのみの座席には使用できます。）

●車の進行方向に対して横向きおよび後向きの座席

衝突の際に、お子さまが放出される危険性があります。

●片側スライドドアの入り口座席

後部座席に同乗者がいる場合、事故などの緊急事態に後部座席の人が脱出できないおそれがあります。

●シートベルトに損傷がある座席

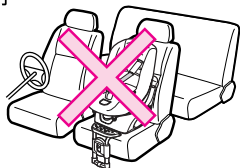
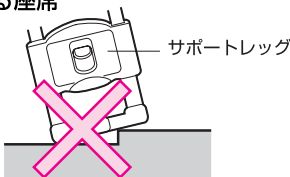
事故等の際に、本品ごとお子さまが投げ出されるおそれがあります。損傷がある場合は、自動車ディーラー等で交換してください。

●補助座席および幼児専用座席

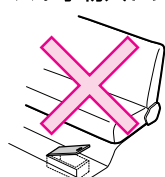
●スポーツシート等凸凹が極端な座席

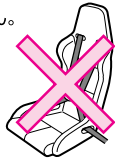
●座席以外のピラーやドア等の車両構造物に本品が接触する座席

⚠ 警告

座席およびシートベルトの種類による場合

●助手席

●サポートレッグが接する車の床に1cm以上段差がある座席

●サポートレッグが車の床に届かない又は、短くしてもベースがういてしまう座席

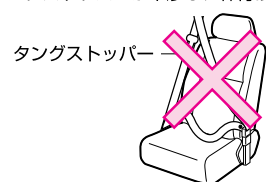
●サポートレッグが接する車の床の部分が収納スペースや小物入れになっている座席

●2点式シートベルトの座席

●市販のスポーツタイプシート、又はスポーツタイプシートベルトが装着されている座席
本品が安定しません。

●シートベルトがついていない座席
本品の使用ができません。

●パッシブシートベルト（ドアを閉めると自動的に装着されるシートベルト）の座席
本品の使用ができません。

●腰シートベルトにELR（緊急ロック式ベルト巻取装置）があるもの。

●その他のシートベルト
5ページ「取付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト

●タングストッパーが高い位置にある座席
タングストッパーが干渉し、締付けができません。

⚠ 注意

●本革シートの座席
本品の取付けをすると取付け跡が残ることがあります。

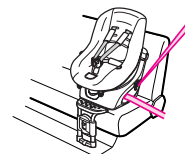
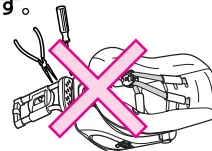
1.安全にお使いいただくために

注意事項　取扱上守るべき重要な注意ですので必ずお読みください。

⚠ 警告

保管や未使用時

●事故や落下により本品が強い衝撃を受けた場合は、本品の使用をおやめください。
外観上破損が見えなくても強度が下がっている場合があります。
油性ペン等で本品に「廃棄」「事故品」等を明記のうえ廃棄してください。

●お子さまが乗っていないときでも必ず車のシートベルトで本品を固定してください。
急ブレーキなどで本品が車内を転がり、事故につながるおそれがあります。

●本品を改造しての使用、または本書に記載されていない取付けや使用をしないでください。本品の性能が十分に発揮できない場合があります。

●本品は、市販の袋等をかぶせて直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。

●本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤は使用しないでください。

●本品に重量物を載せないでください。
外観上破損がなくても、本来の性能が損なわれる場合があります。

●適応条件に適合しないお子さまは使用しないでください。

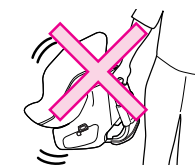
⚠ 注意

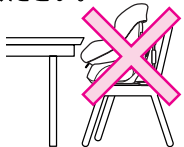
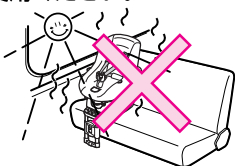
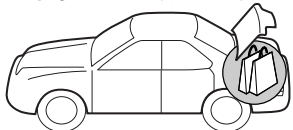
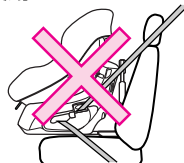
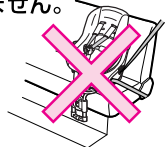
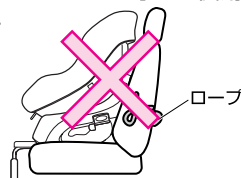
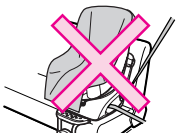
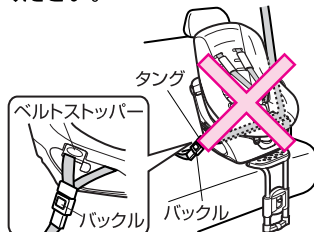
●本品を持ち運びの際は、ターンレバー、リクライニングレバーに手をかけないでください。（正しい持ち方はP11）

●サポートレッグだけを持っての持ち運びはしないでください。

1.安全にお使いいただくために

注意事項　取扱上守るべき重要な注意ですので必ずお読みください。

⚠警告

ご使用前に

●本品は車内専用品のため、車外では使用しないでください。

●本品を直射日光にさらさないでください。金属部や樹脂部が熱くなり、やけどをするおそれがあるので熱くないことを確認してからご使用ください。

●衝突の際に傷害を与える可能性のある荷物などは適切に固定するか、トランク内に収納するようにしてください。

●本品を取付けの際、サポートレッグを収納したまま使用しないでください。

●サポートレッグは必ず車の床面に接するように取付けしてください。正しい取付けをしないと取付けが不安定になり本品の性能を発揮できません。

●本品は必ず車のシートベルトで固定してお使いください。シートベルト以外で固定すると本品が脱落したり、衝突の際に本品ごとお子さまが投げ出されて危険です。市販のベルトやロープ等は、使用しないでください。

●本品のカバー・クッションをはずしての使用、または本品以外のカバーを取付けるなど付加しての使用はやめてください。

●チャイルドシートを車に固定する場合、シートベルトに緩みやねじれのないようにしてください。

●バックル側のベルトストッパーは使用しないでください。

⚠警告

ご使用中に

●本品の取付確認後に取付座席をスライドまたはリクライニングはしないでください。シートベルトがゆるむことがあります。

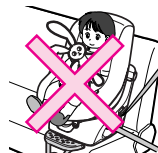
●お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子さまを車内に置き去りにしないでください。特に夏場は車内が高温になり大変危険です。

●本書に従い正しい乗車姿勢でお使いください。お子さまを立たせたり、中腰、正座をした状態で使用しないでください。

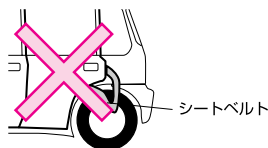
●お子さまの上着やズボンなどにおもちゃなどが入っていないことを確認してください。お子さまと本品の間に物がはさまり、ケガの原因となります。

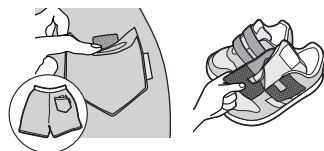
●走行中に本品の取付けや操作をしないでください。本品の取付け状態の確認および操作は、安全な場所に停車して行ってください。

●本品にお子さまを乗せたまま持運ばないでください。持運ぶ際に不安定になり落下のおそれがあります。（本品単体の正しい持ち方 P11）

●本品のシートを横向きに回転したまま走行しないでください。

ご使用中に

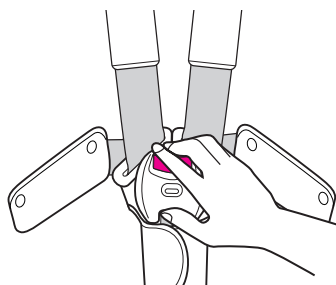
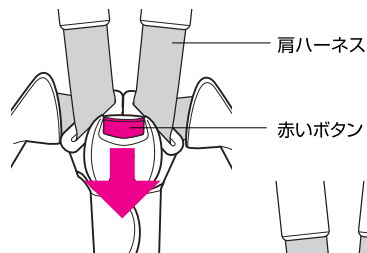
⚠注意

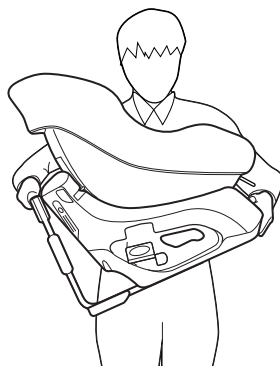
●本品の取付けや使用の際に本品の一部、又は、シートベルト等をドアまたは座席の間に挟まないようにしてください。

●お子さまの靴や衣服の面ファスナーが本品のカバー等に触れる（引っかかる）と生地が傷むおそれがあります。

参考

●お子さまのために休憩をとりましょう。長時間同じ姿勢でいると、ぐずる要因になります。

●走行中は、お子さまに飲食物をあげるのはやめましょう。万一の時に、お子さまが喉に飲食物を詰まらせることがあり危険です。

緊急事態には

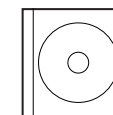
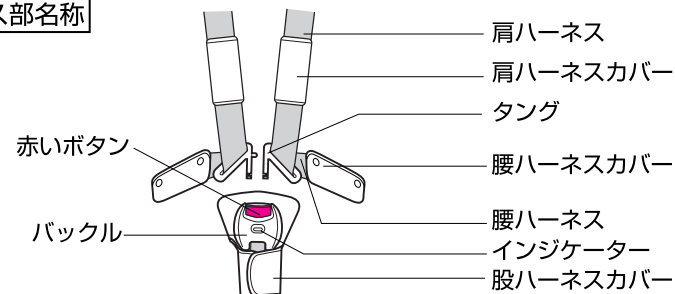
事故などの緊急事態には、バックルの赤いボタンを下に押して肩ハーネスをお子さまの腕からはずし、すみやかに安全な場所へ避難してください。

正しい持ち方

⚠注意

本品を持ち運びの際は、ターンレバー、リクライニングレバーに手をかけないようにしてください。

2.部品内容の確認/各部の名称

各部の名称

はじめに梱包内容を確認して、万一不足部品がありましたら本書記載のサービスセンターへご連絡ください。

梱包内容

2.部品内容の確認/各部の名称

正 面

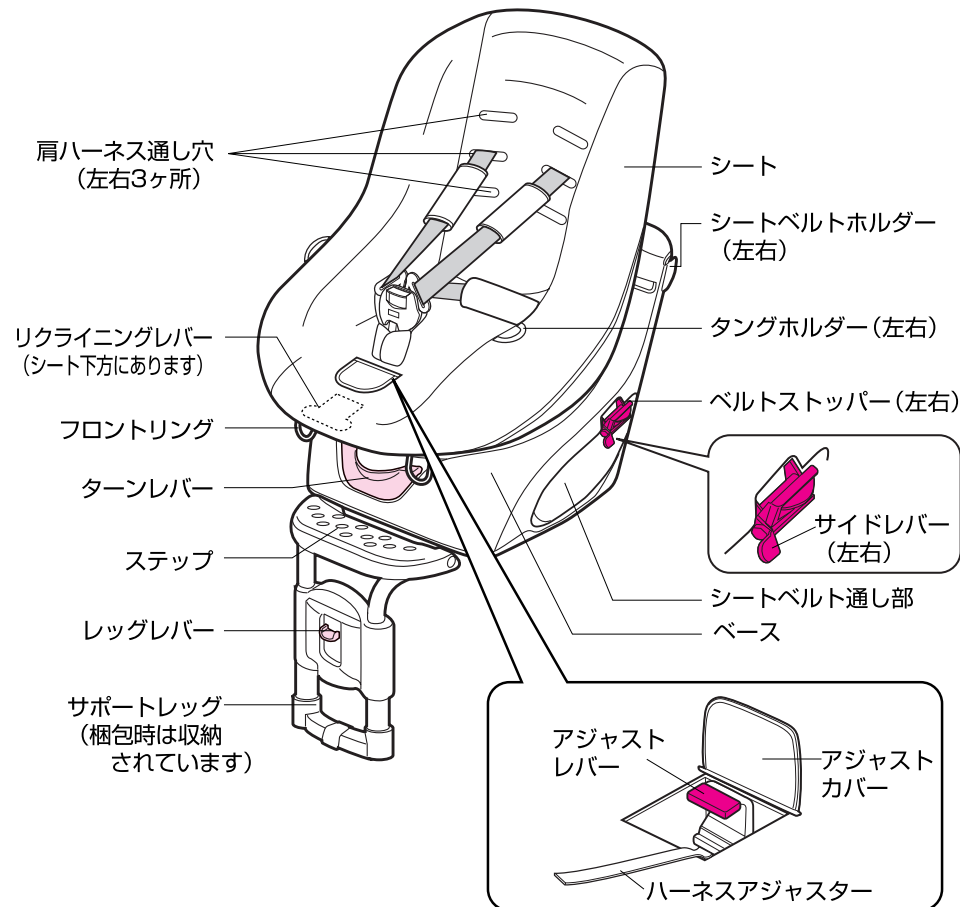
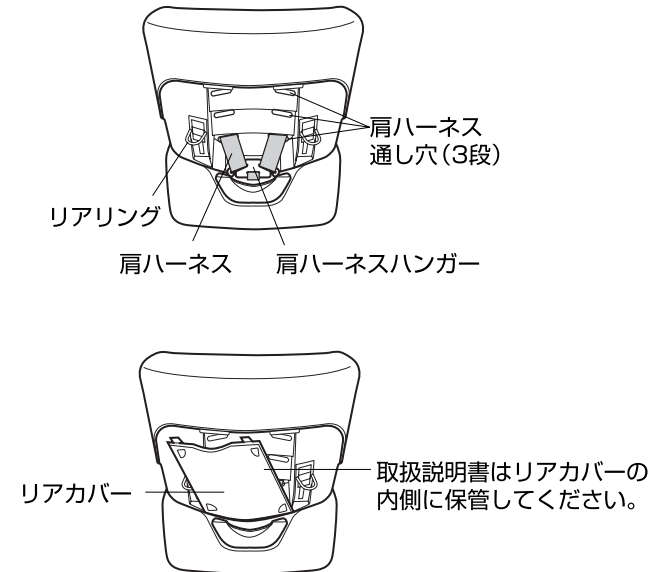
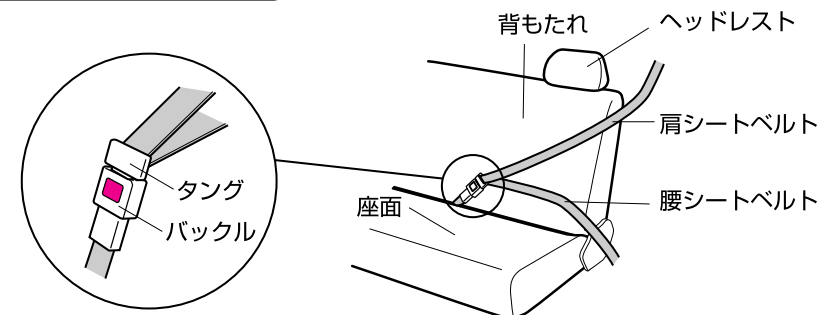
背 面

車のシートベルトの名称

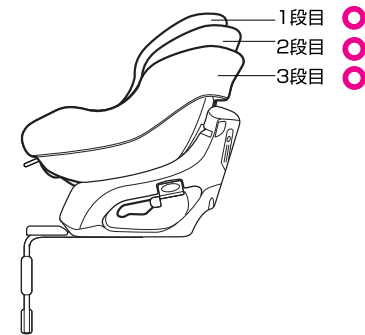
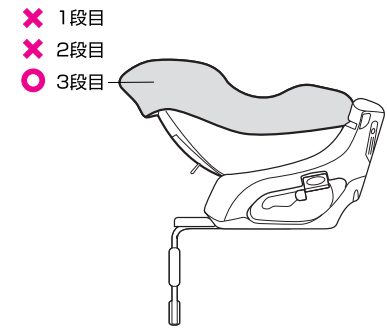
新生児プロテクター

別体新生児プロテクター

⚠警告

●新生児プロテクターはお子さまの体重が7kg未満の場合にお使いください。
●お子さまの体重が７ｋｇ以上１０ｋｇ未満の場合でも、お子さまをシートに座らせた時に肩ハーネスにたるみがある場合には、新生児プロテクターを使用してください。

リクライニングの操作方法

本品は **3 段階のリクライニング**ができます。後向きでご使用の際は3段目のみ使用できます。（チャイルドシートの向き→P.30）

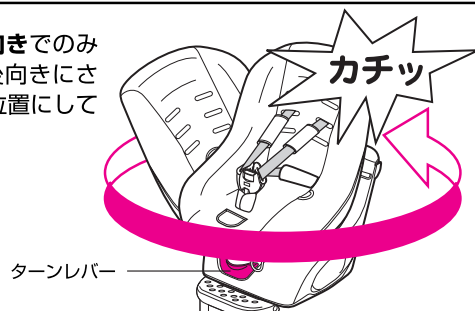
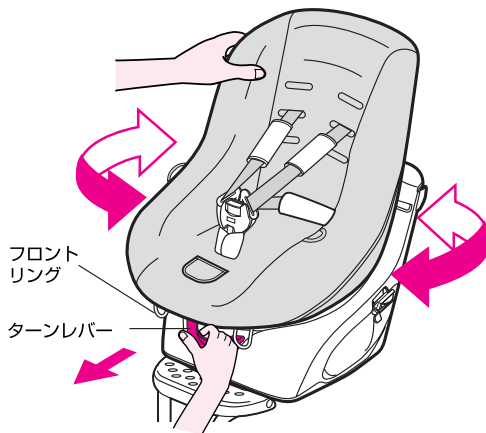
前向き		後向き	
1段目	○	1段目	×
2段目	○	2段目	×
3段目	○	3段目	○

リクライニングレバーを手前に引き両手でシートを前後にゆっくりリクライニングさせる。

参考

後向きではリクライニングはできません。

⚠警告 走行中には各部の操作をしないでください。

シートの回転操作方法

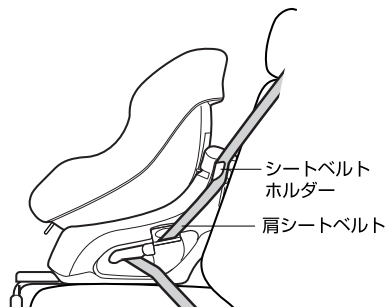
シートは360°回転し、**前向き**と**後向き**でのみ固定することができます。シートを後向きにさせる時は、リクライニングを3段目の位置にしてください。

リクライニングを3段目の位置にして、ターンレバーを手前に引きシートを回転させる。

⚠警告

- フロントリング、リアリングはシートとベースを接続する部品です。リングに指を入れたり、物をかけたりしないでください。動作不良の原因になります。
- シートを回転させたら、その後に必ずロックされていることを確認してください。

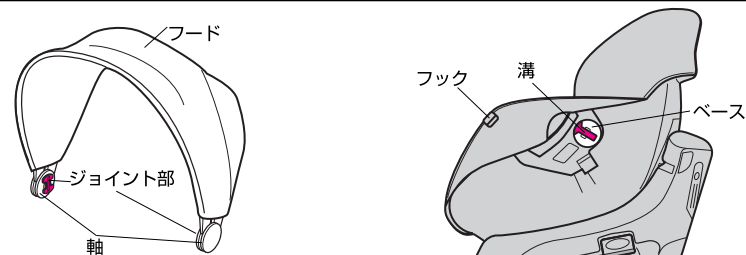
⚠注意

- シートを回転させる際、同乗者の方が手を出してシートとベースの間に指をはさまないよう注意してください。
- シートを回転させた場合、車種によってはフロントリング、リアリングが肩シートベルトに干渉し、ベルトに傷をつける場合があります。干渉する場合は、回転操作をする時だけ肩シートベルトをシートベルトホルダーにかけてご使用ください。

参考

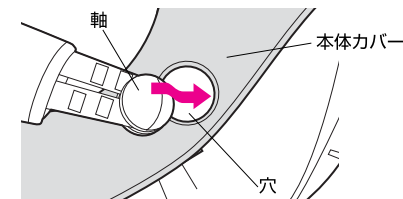
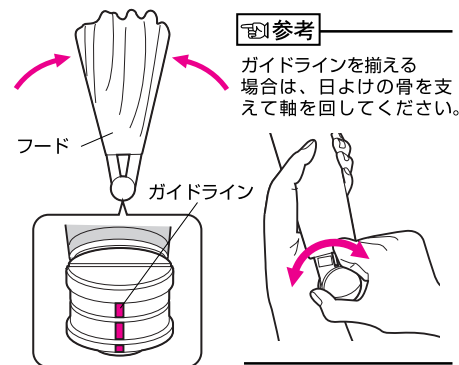
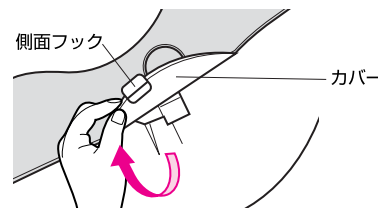
リクライニング位置によりシートが車の座席に干渉することがあります。

4. 日よけの使用方法

- 日よけはクルットプレミアムのみの付属品です。
- 後向き取付け時（体重10kg未満）にお使いください。前向き取付け時には使用しないでください。

各部の名称

取付方法（付け外しは左右順番におこなってください。）

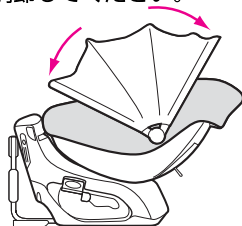
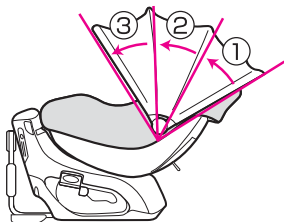
1 フードをたたみ、日よけの軸側面の3本のガイドラインが一直線上に揃っていることを確認する。

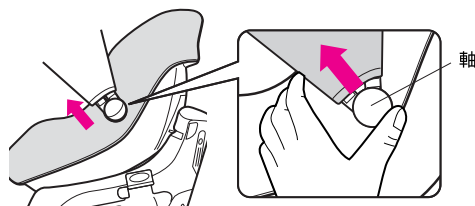
2 本体カバー側面のフックを外してカバーをめくる。

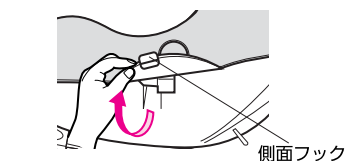
3 日よけのフードをたたんだ状態で、本体カバー側面の穴に軸を通す。

4 ガイドラインが溝に合うように、ジョイント部を奥までしっかり差込む。

5 本体カバー側面のフックをかける。

使用方法

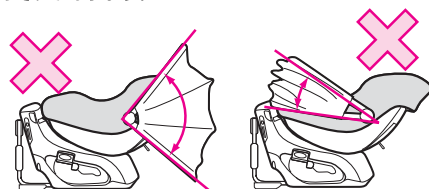
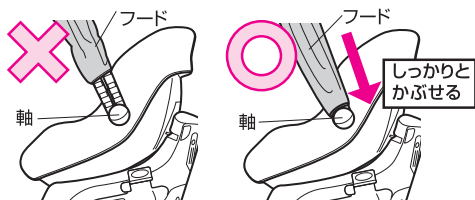
●日よけのフードの角度は 3 段階に調節できます。（最大90度まで開きます。）

●お子様の前側、後ろ側のどちらにも動かせます。日よけの向きや角度は日差しに合わせて調節してください。

取外し方法

1 日よけの軸を斜め方向に押上げて、本体側面のベースから外す。

参考

本体カバー側面のフックを外しておくと日よけが取外しやすくなります。

⚠ 注意

●日よけのフードが軸までしっかりとかぶっていない状態で使用すると、日よけが開かなくなります。また、その状態で無理に開くとフードが破損するおそれがあります。日よけを使用する際は、日よけのフードが軸までしっかりとかぶっていることを確認してください。

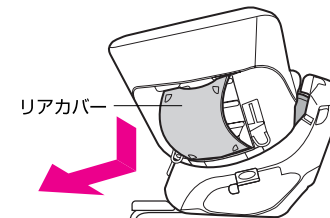
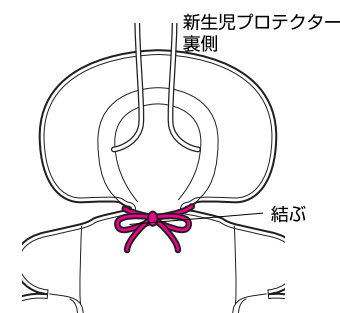
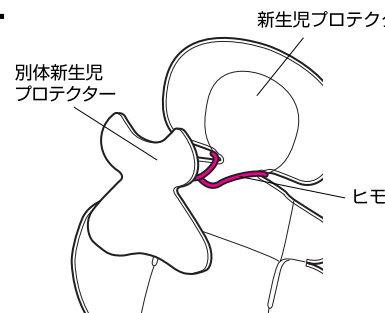
●シートの両端を超える角度では使用しないでください。回転した時に日よけのフードが本体にはさまるおそれがあります。

●本品を持ち運ぶ際は日よけ部分を持たないでください。

●日よけを無理やり折り曲げたりねじったりしないでください。破損するおそれがあります。

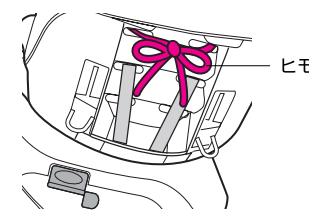
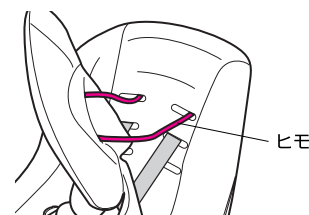
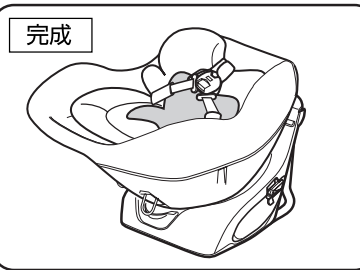
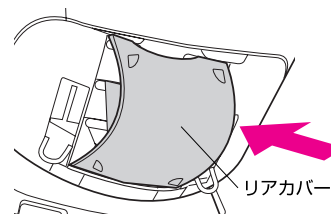
5. 新生児プロテクターの使用方法

新生児プロテクターはお子さまの体重が7kg未満の場合にお使いください。なお、お子さまの成長には個人差があります。新生児プロテクターから頭がはみ出したり、幅が狭くなってきた場合は取外してください。 参考 お買い上げの際は既に取付けてあります。

取付方法

1 シートの背面が見えるように90°回転させリアカバーを取外す。
（シートの回転方法→P.17）

2 別体新生児プロテクターの取付けヒモを新生児プロテクターの首の部分に結びつける。

3 新生児プロテクターの取付けヒモを、現在使用している肩ハーネス通し穴の一段上に通し、シート背面で結ぶ。

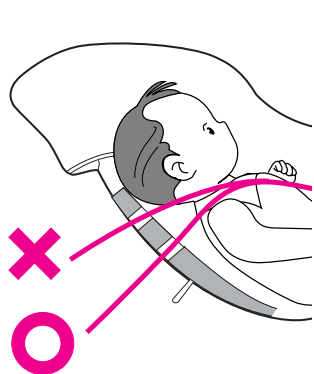
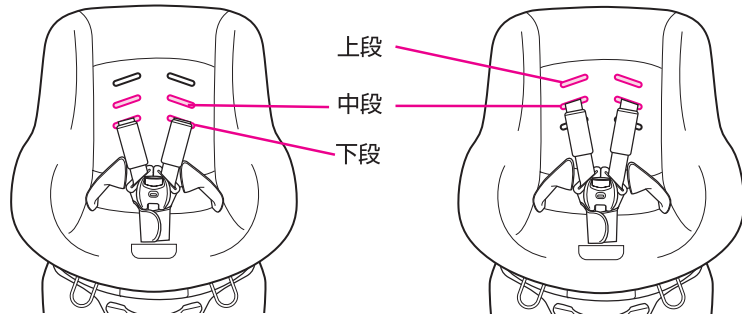
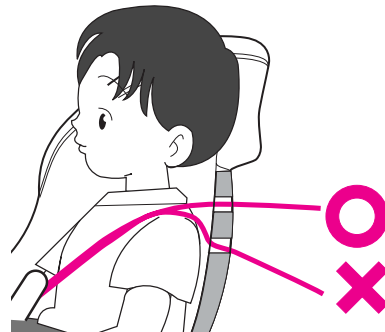
4 リアカバーを下から取付ける。

完成

6. 肩ハーネスの調節

適正な肩ハーネス通し穴の選び方

参考 お買い上げの際には新生児に合う位置（下段）に設定されています。

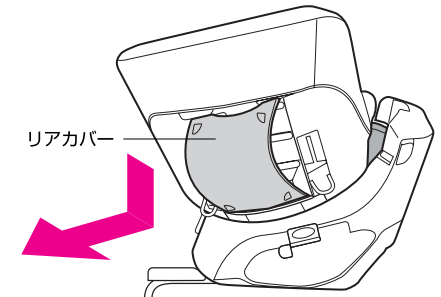
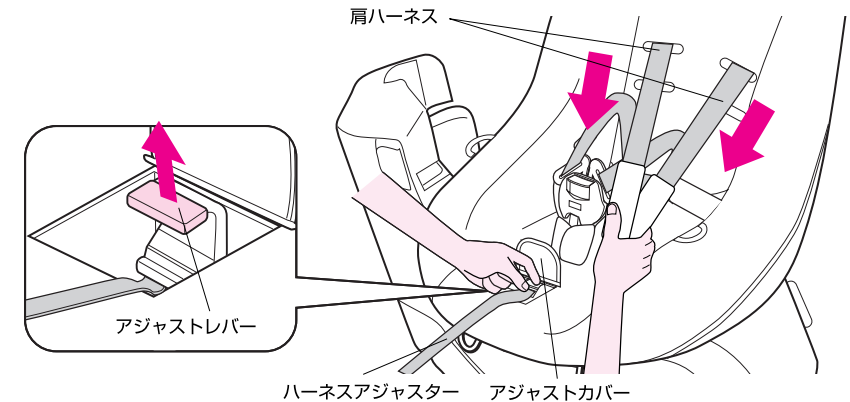
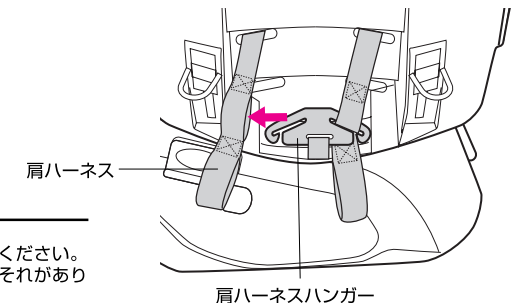
本品はお子さまの成長に応じて、使用する肩ハーネス通し穴の位置を変えて使用します。
本品を車へ取付ける前にお子さまの体格に合った肩ハーネス通し穴に調節してください。

後向き 中段 下段 の2つのどちらかを使用　　前向き 上段 中段 の2つのどちらかを使用

後向きではお子さまの肩より下の位置の肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通します。

前向きではお子さまの肩より上の位置の肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通します。

6. 肩ハーネスの調節

肩ハーネス通し穴の調節

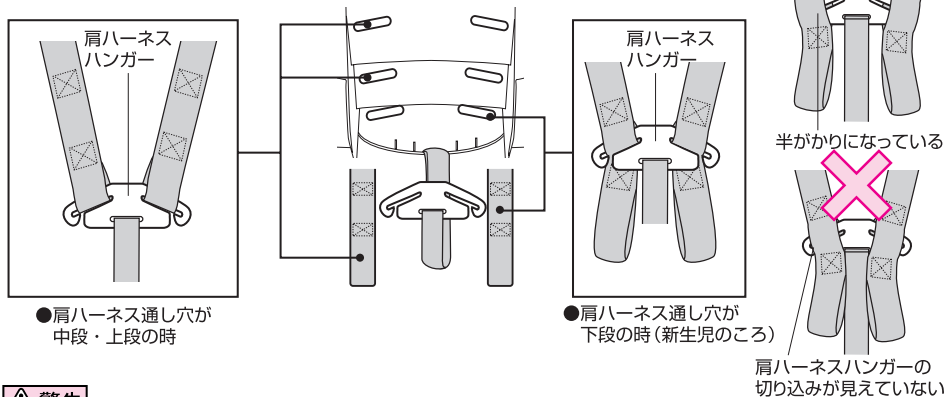
1 お子さまを降ろし、シートの背面が見えるように90° 回転させリアカバーを取外す。
（シートの回転方法→P.17）

参考
リクライニングを1段目にすると作業が簡単になります。
（リクライニングの操作方法→P.16）

2 アジャストカバーをめくり、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを一杯までゆるめる。

3 肩ハーネスハンガーから肩ハーネスをはずし、一度シート正面から肩ハーネスを引き抜き、適正な肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通す。（適正な肩ハーネス通し穴の選び方→ P21）

⚠注意
リアカバーを取外したまま回転操作はしないでください。
肩ハーネスハンガーが回転部分にはさまれるおそれがあります。

4 肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかける。

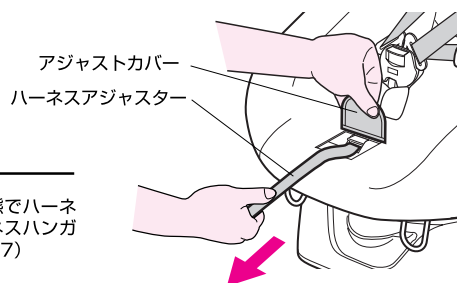
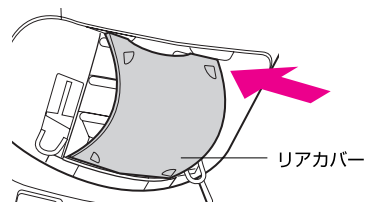
肩ハーネスは肩ハーネス通し穴により取付け方が異なります。
肩ハーネス通し穴と肩ハーネスの取付位置は図のようになります。

●肩ハーネス通し穴が
中段・上段の時

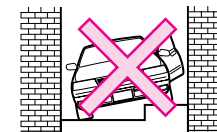
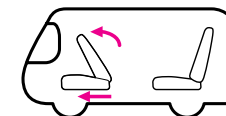
●肩ハーネス通し穴が
下段の時（新生児のころ）

⚠警告

●肩ハーネスは肩ハーネスハンガーの切り込みが見えるように正しくかけてください。正しくかけないと、肩ハーネスがしめつけられないおそれがあります。
●肩ハーネスにねじれがないようにしてください。

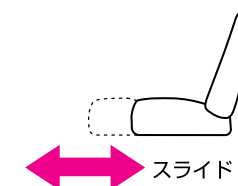
5 アジャストカバーをめくり、ハーネスアジャスターを引く。

肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかけない状態でハーネスアジャスターを引かないでください。肩ハーネスハンガーが奥に入りこんでしまいます。（対処方法→P37）

6 リアカバーを下から取付ける。

7. 車への取付準備

取付け作業スペースの確保

1 取付け作業は本品の持ち運びができ、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

2 取付け作業は、前席をたおしたり、スライドさせて、できるだけ車内の作業スペースを確保してください。

3 取付座席にスライド機能がある場合は、実際に使用する位置にしてください。

⚠警告

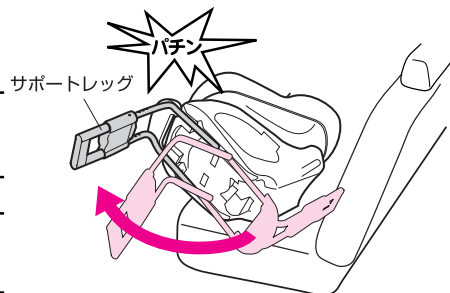
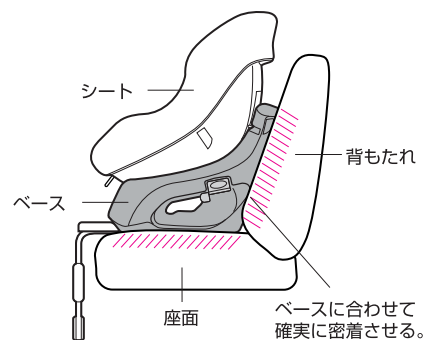
取付後はスライドは動かさないでください。シートベルトがゆるむことがあります。

STEP 1 サポートレッグの調節

1 本品を車の座面上に横向きに寝かせる。
ベース下側に収納されているサポートレッグをベース背面から回転させ固定する。

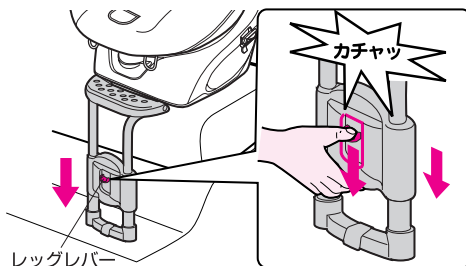
⚠警告

●サポートレッグが確実に固定されるまで回転させないと、本来の機能を発揮できません。

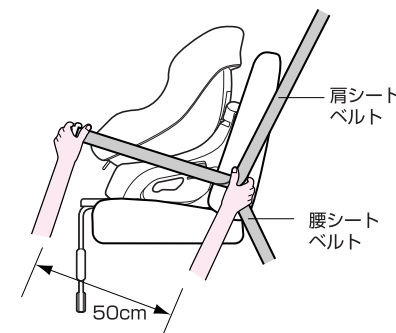
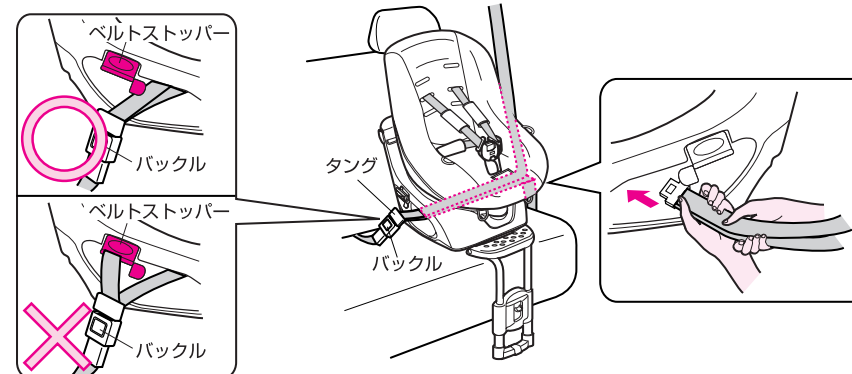
⚠注意

●サポートレッグを回転させる際に指をはさんだり、ドアにぶつけないように気をつけてください。

2 車の座面と背もたれに密着するように置く。

3 レッグレバーを握りサポートレッグが車の床面に接するように調節する。

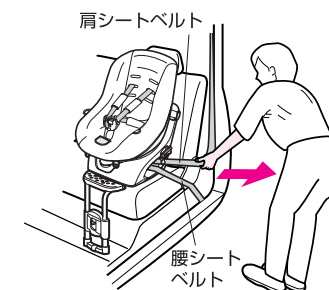
⚠警告

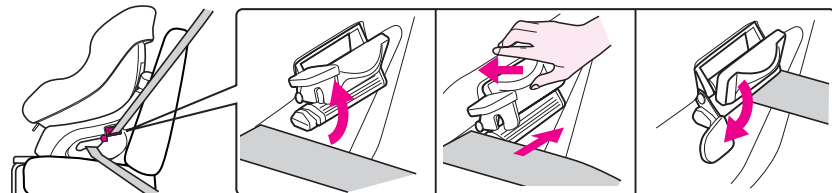
●サポートレッグを伸ばした際に「ロックされていません」の表示位置では使用できませんので、表示が緑に変わるまで少し伸ばしてください。
●サポートレッグが座席のスライドレールに当たる場合は、必ず車メーカー純正のフロアマットを敷いてください。
●サポートレッグの使用範囲以上に伸ばさなければならない座席には使用できません。他の座席に取付けてください。

8. 車への取付方法

STEP 2 シートベルトの取付け

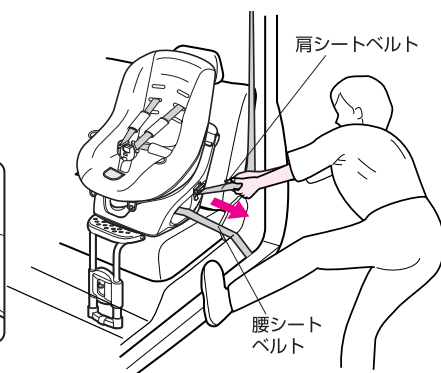
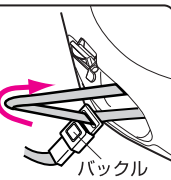
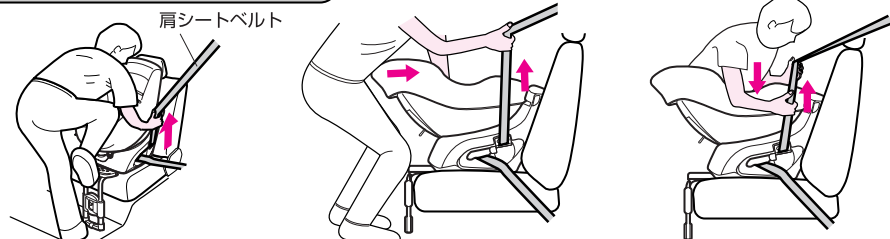
4 シートベルトを引出し、腰シートベルトと肩シートベルトを50cm程度重ね合わせる。

5 重ね合わせたシートベルトをシートベルト通し部に通し、反対側へ引出しタングをバックルに差込む。

⚠注意

●バックル側のベルトストッパーは使用しないでください。
●クルマに取付けるまえに、バックルの解除ボタンが操作できるか確認してください。バックルがベルト通し部の奥まで入りこんだ場合、取外しができなくなる場合があります。

6 肩シートベルトを引っ張り、腰シートベルトのたるみをなくす。

STEP 3 シートベルトの締付け

7 ベルトストッパーに肩シートベルトを差込む。

⚠警告

- 肩シートベルトはベルトストッパーの奥までねじれのないようにしっかり差込んでください。
- サイドレバーを確実に下げてロックしてください。

8 肩シートベルトを強く水平方向に引っ張る。

ドアが開閉しない座席の場合 （3ドア車、3列目シートなどに取付けする場合）

- チャイルドシート上にのって引っ張る。

- チャイルドシートの前から背もたれに押しつけながら引っ張る。

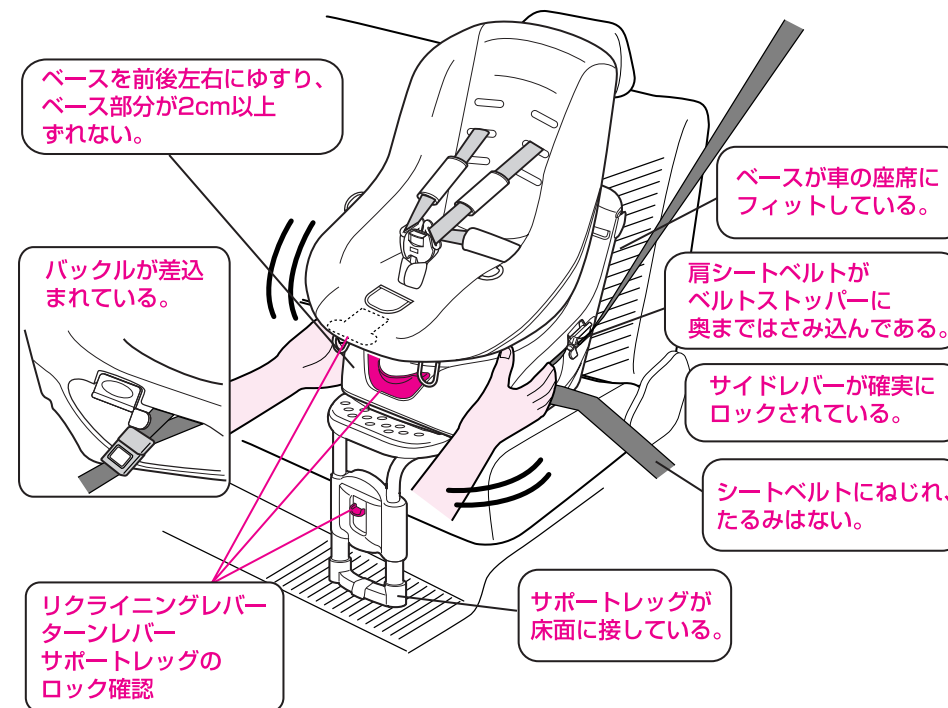
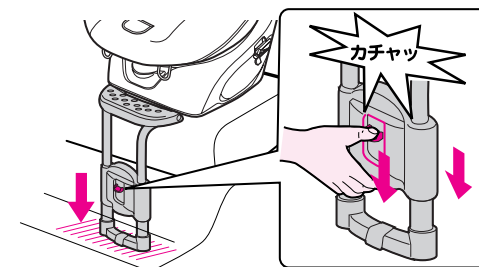
- 取付座席の横から引っ張る。

参考

- 本品のシートに十分に体重をかけて座席に押しつけながら、肩シートベルトを強く上方向に引くと簡単に締めつけできます。

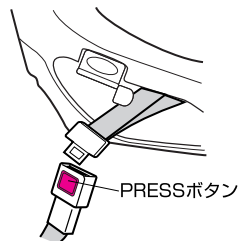
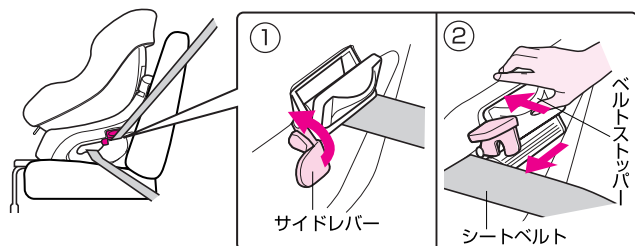
8. 車への取付方法

取付後の確認方法

正しく取付られていない場合はやりなおしてください。

サポートレッグが浮いている場合は、サポートレッグが車の床面に接するまで伸ばす。

⚠警告

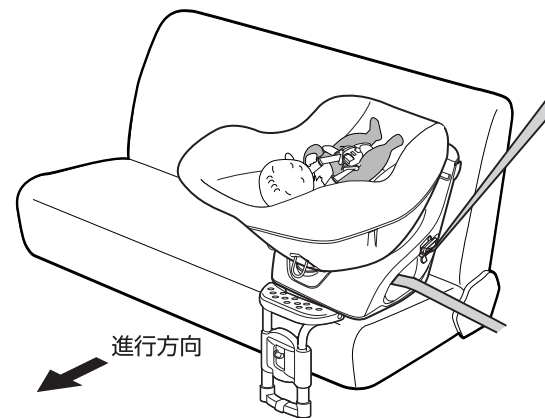
- サポートレッグを調節した後に、緑の表示になったことを必ず確認してください。
- サポートレッグは床面とのあいだにスキマがないように調節してください。

取外し方法

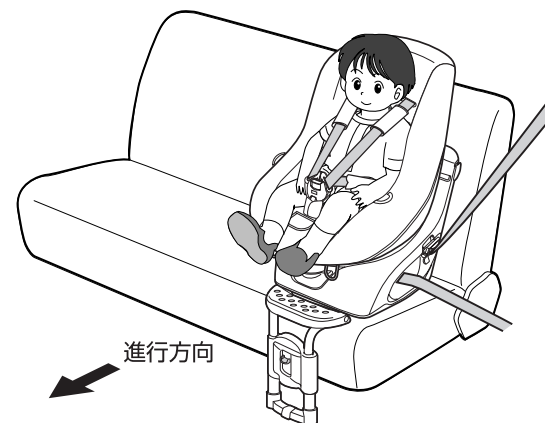
1 バックルのPRESSボタンを押し、シートベルトをはずす。

2 サイドレバーを上げて、ベルトストッパーからシートベルトをはずす。

9. お子さまの乗せ降ろし

シートの向き

〈お子さまの体重が10kg未満の場合〉

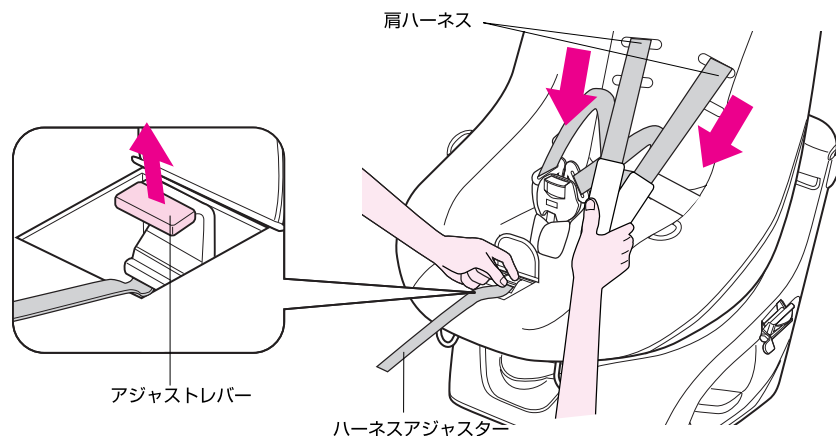
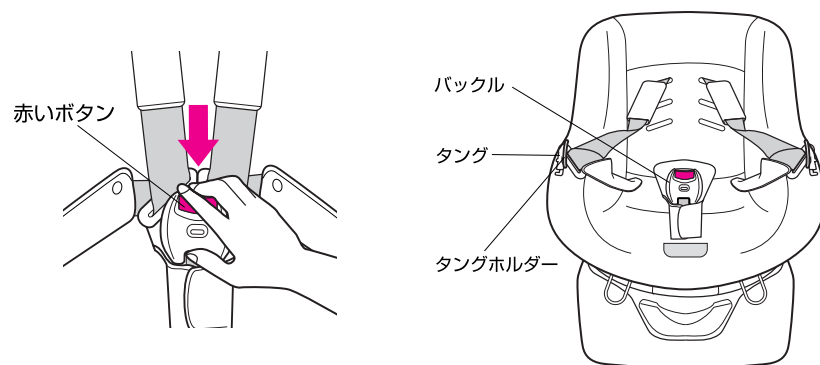
車の進行方向に対して後向きにします。（リクライニング/シートの回転→P.16、17）

〈お子さまの体重が10kg～18kgの場合〉

車の進行方向と同じ前向きにします。

9.お子さまの乗せ降ろし

お子さまの乗せかた

新生児（生後1ヶ月以内）に使用する場合は特に次の事柄をお守りください。

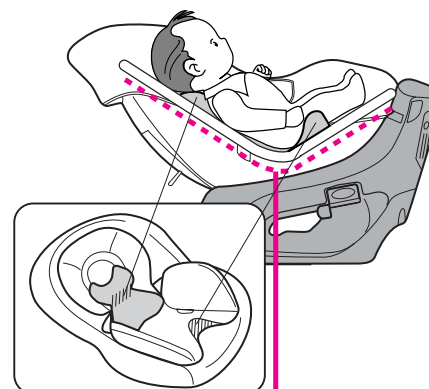
- 体重が2500g未満の新生児には使用できません。
- チャイルドシートにお子さまを乗せている間は必ず同乗者がお子さまから目をはなさないようにしてください。
- 肩ハーネスの位置および肩ハーネスの長さを確認してください。（→P.21）
- 肩ハーネスが正しく肩にかかっていることを確認してください。
- 新生児プロテクターが正しく装着されているか確認してください。（→P.20）
- お子さまの負担を考えて1時間程度ごとに休憩をおとりください。

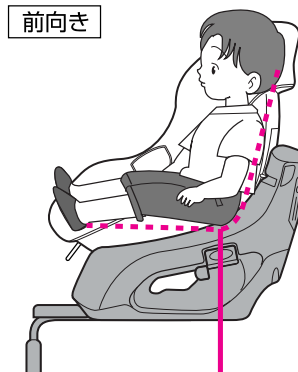
1 アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っぱり、肩ハーネスをゆるめる。

2 バックルの赤いボタンを下に押し、タングをはずす。

参考

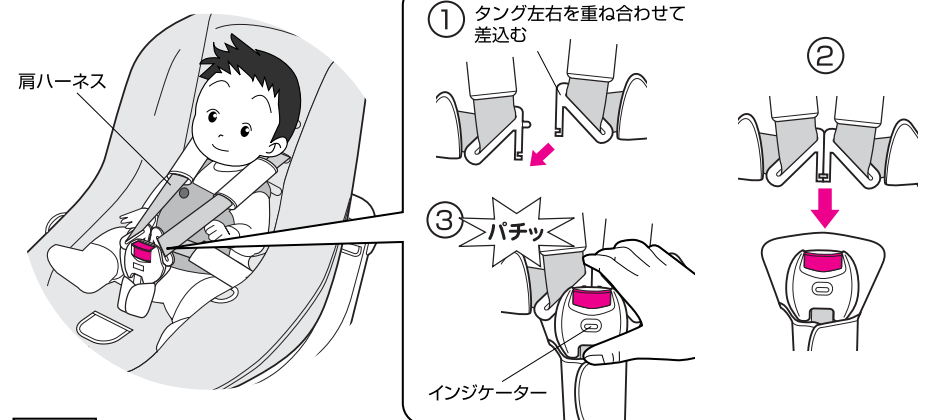
サイドにあるタングホルダーにタングを掛けておくと、お子さまの乗せ降ろしをする時にハーネスがじゃまになりません。

お子さまの乗せかた

3 お子さまを適正な位置にのせる。

後向き

① 一番低い位置におしりをのせる。
② 別体新生児プロテクターの凸部に首の後ろをフィットさせる。

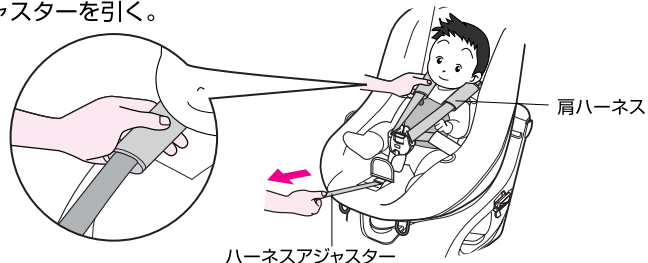
前向き

シート奥まで深く座るようにお子さまを乗せてください。

4 お子さまをシートに座らせて腕を肩ハーネスに通し、左右のタングを合わせバックルに差込む。インジケーターが緑になっていることを確認する。

参考

タングをかさね合わせないと、バックルに差込めません。

⚠警告

バックルに異物が入らないように注意してください。入ってしまった場合には、そのまま使用せず本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。（預かり修理となります。）

5 お子さまの胸部と肩ハーネスの隙間に大人の指が1～2本入る程度にハーネスアジャスターを引く。

⚠警告

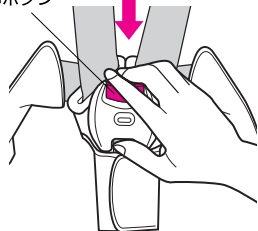
●肩ハーネスに緩みやねじれがないか、腰ハーネスは骨盤をしっかり拘束しているか確認してください。
●タングがバックルに差込まれてロックされているか確認してください。

6 お子さまの体重に適したシートの向きになっていることを確認する。（→P.30）

出発前のチェック

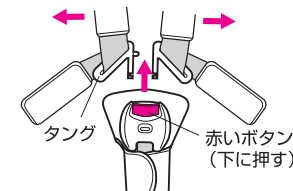
お子さまの乗せかた（→P.30～33）

お子さまの降ろしかた

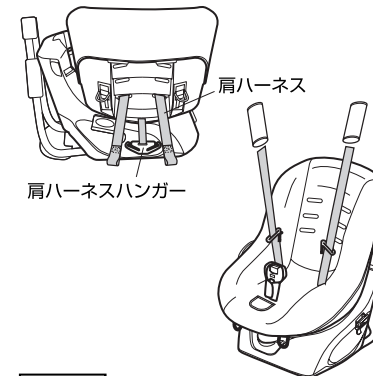
1 バックルの赤いボタンを下に押し、タングをバックルからはずす。

10. お手入れのしかた

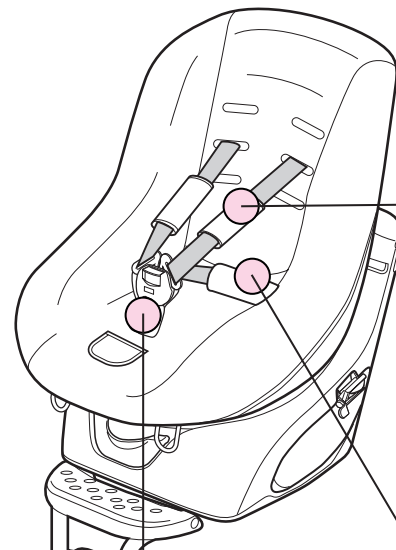
●日よけの使用方法はP.18～19（クルットプレミアムのみ）
●新生児プロテクターの使用方法はP.20

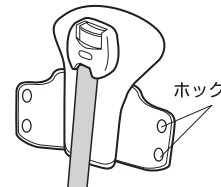
カバー類の取外し

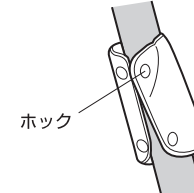
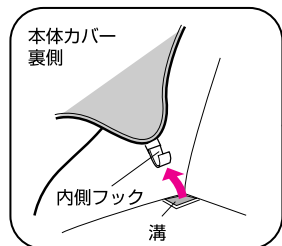
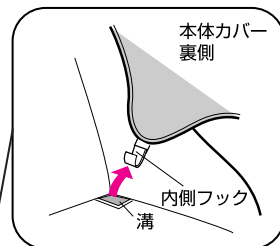
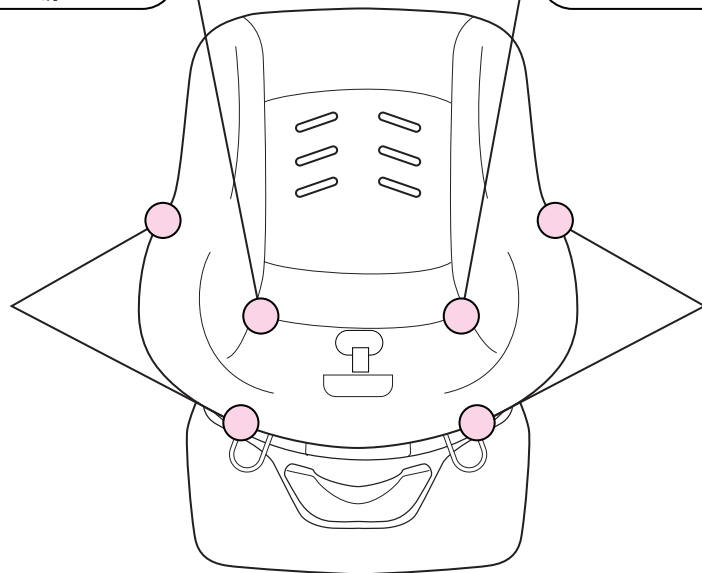
●本体カバーを外す前にタングをバックルからはずしてください。

●本体カバー及び肩ハーネスカバーを外すには肩ハーネスを外す必要があります。

肩ハーネスカバー

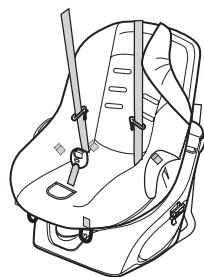
〈取外し方法〉
シートを回転させ、リアカバーを外し肩ハーネスハンガーから肩ハーネスを外してから取外す。（22ページ参考）

⚠注意

肩ハーネスを外した後にシートを回転させる場合は、必ずリアカバーをつけてください

股ハーネスカバー

カバーのホックを外す。

腰ハーネスカバー

カバーのホックを外す。

本体カバー

1 外側フック（4ヶ所）を外す。

2 内側フック（2ヶ所）を外す。

3 肩ハーネス、タング、バックルを本体カバーから抜いて外す。

取付け

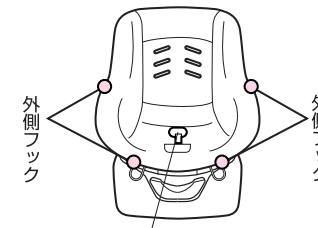
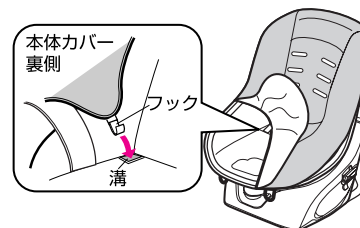
●本体カバーを取付後に他のカバーを取付けます。

参考
肩ハーネスカバー、腰ハーネスカバー、股ハーネスカバーを取り付ける際にタングをバックルに差し込んでおくとハーネスがねじれないように取付けできます。

本体カバー

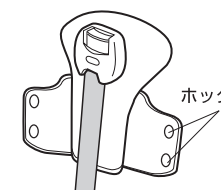
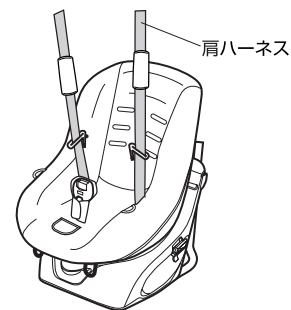
1 本体カバーに肩ハーネスとタングを通す。

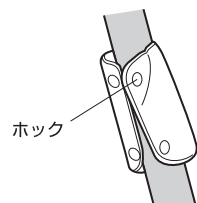
2 本体カバー上部をシートにかぶせ内側フック2カ所をかける。

3 本体カバーにバックルを通し、外側フック4カ所をかける。

肩ハーネスカバー

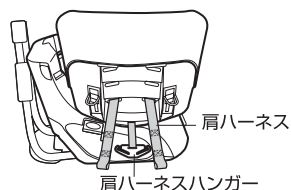
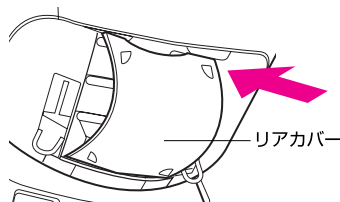
ハーネスにねじれがないように肩ハーネスカバーを通す。

股ハーネスカバー

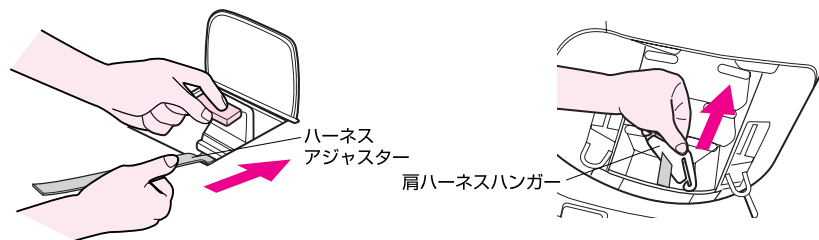
カバーのホックを取付ける。

腰ハーネスカバー

カバーのホックを取付ける。

4 すべてのカバーを取付けたらシートを回転させ肩ハーネスを適正な肩ハーネス通し穴に通し、肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかける。

参考

●最適な肩ハーネスの位置→P.21〜23
●新生児プロテクターを取付ける場合はこの時点から取付けます。→P.20

5 リアカバーを取付ける。

肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまった場合

① アジャストレバーを上げたまま、ハーネスアジャスターを手で少しずつ中に送り込みます。

② シート背面から手を入れ肩ハーネスハンガーを引き出します。

タングとハーネスがねじれてしまった場合

ハーネスからタングを抜いて正しい方向に入れ直してください。

10.お手入れのしかた

洗濯のしかた

⚠注意 日よけは洗濯できません。

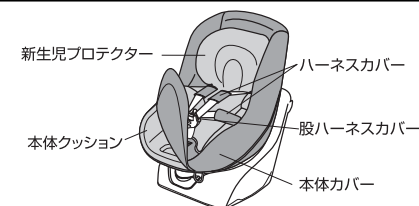
洗濯上の注意	
	40℃以下の液温で手洗いしてください。
	塩素系漂白剤による漂白はできません。
	ねじり絞りは避けてください。 脱水機は使えますが、洗濯ネットに入れ、時間を短めにしてください。
	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。

※新生児プロテクター、別体新生児プロテクターカバーを洗濯する場合はウレタンクッションを取り出して洗濯してください。

材質表示

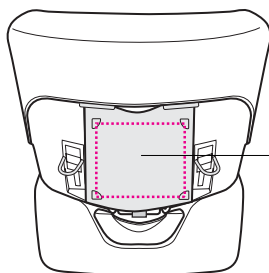
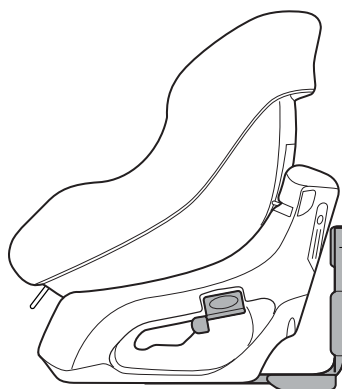
パーツ	表生地/裏生地 (本体カバー･新生児プロテクター･別体新生児プロテクターカバー)	クッション
材 質	ポリエステル/ウレタンフォーム	ウレタンフォーム

参考

本品はクッション性能向上のため、ウレタンフォームを使用しています。ウレタンフォームの特性上、変色する場合がありますが、ご使用上の問題はございません。

製品仕様

製品サイズ	H 680 × W 480 × D 610(mm)(サポートレッグ収納時、日よけは除く)
製品質量	クルット プレミアム:13.5kg / クルット ハイグレード:13kg
本体材質	ポリプロピレン(一部ポリアセタール、ABSなど)

11. 保管方法

●本品に市販の袋等をかぶせて、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
●取扱説明書は本品リアカバー内側に収納して、いつでも見られるようにしてください。

●サポートレッグは最も短い状態で収納してください。

12. 廃棄方法

●お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分、廃棄してください。
●事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペン等で目立つところに記入してください。

参考

事故により処分する場合は、車のシートベルトにも事故による損傷等がないか、自動車ディーラー等で点検することをおすすめします。

保　証　書

見本

本証書は、下記の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を当社サービスセンターまたはご購入の販売店にご提示の上、お問合わせください。

〈保証規定〉　記

1. 保証期間内（ご購入日より3年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
   - A. 樹脂（プラスチック）部品の紫外線等自然劣化による変色。
   - B. 本体シート、プロテクター等の縫製部品の汚れや損傷。
   - C. お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
   - D. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
   - E. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
   - F. 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
   - G. 本証書のご提示がない場合。
   - H. 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   - I. 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
3. 一度ご使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
4. 衝突事故など、一度でも強[illegible]を受けた製品の修理はできません。
5. 製造中止後の[illegible]いては[illegible]品の在庫がなくなった場合、修理などの[illegible]ができないことがあります
6. 日本国内のみ[illegible]

●ご[illegible]入後、ご使用[illegible]必ず[illegible]入してください。製造番号は本体のベー[illegible]れております。

商品名		型式指定番号	型式	製造番号
エールベベ・クル[illegible]プレミ[illegible] エールベベ・クル[illegible]ト ハイグ[illegible]ード		㉂ C-2531 ㉂ C-2532	C[illegible]7 [illegible]8	
保証期間	ご購入日より3年間 （但し保証規定による）		ご購入日	年　月　日
お名前 ご住所　〒 TEL.		ご購入店名 住所　〒 TEL.		

修理メモ

ご購入後、商品名、ご購入日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
万が一故障が生じました場合は本証書をご提示ください。本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
この保証書は、本証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

お問合わせ先

カーメイトサービスセンター

TEL 03-5926-1212（代表） FAX 03-5926-1218

パソコン http://www.carmate.co.jp/toi/ 携帯メール mobile@carmate.co.jp

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

株式会社カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

0 5 10 20